

## 第6回調査分析部会 議事要旨

1. 日時：平成25年9月10日（火） 16:00-18:00

2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室

3. 出席者

(1) 委員

中須賀部会長、青木部会長代理、磯部委員、城山委員、橋本委員、渡邊委員

(2) 事務局

西本宇宙戦略室長、明野宇宙戦略室審議官、森宇宙戦略室参事官、深井宇宙戦略室参事官、頓宮宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

(1) ロシア等の宇宙政策等について

JAXA、SJACから資料1、2に基づいてヒアリングを行った。

主なヒアリング内容等は下記の通り。

- ロシアで本年4月に策定された長期的な開発基本方針において、打ち上げを確実に行うための方策の確立、通信・放送・航行測位サービスの継続的な提供、地球観測及び宇宙天気データ配布の効率化、宇宙産業分野のロシアのシェア拡大等が示された。
- 「2013年-2020年までのロシア連邦宇宙プログラム」において、約4兆8,000億円の予算を割り当て、宇宙産業界の管理体制を改善して、防衛力・安全保障の確保し、経済を発展させ、宇宙探査プロジェクトを推進していくことが示された。
- ロシアにおいて、専門家の高齢化、施設・設備の老朽化、産業基盤の脆弱さ等が指摘されている。
- 本年7月のプロトンロケットの事故を受け、本年9月ロゴジン副首相は、軍事部門以外の全宇宙関連企業・機関を1年以内に単一の組織に統合すると発言した。統合が実施されるかどうか注視する必要がある。
- ウクライナは、衛星打ち上げサービスの国際合弁会社にロケットを提供し、ブラジルとロケットを共同開発する等、海外への展開で自国の宇宙開発を維持している。

(2) その他

調査分析レポートのテーマとして、衛星周波数調整、宇宙科学・探査、主要国の宇宙政策比較等に関するものが委員から提示された。

以上